

1. 概要

五ヶ瀬川タイムラインについて、平成28年度の検討会の経緯について共有し、今年度の五ヶ瀬川タイムラインの進め方及び机上訓練、情報共有システム（案）について説明が行われた。

2. 実施状況

- 日時：平成30年2月1日（木）13:30～15:30
- 場所：延岡市消防本部
- 出席者：宮崎地方気象台、延岡土木事務所、東臼杵農林振興局、延岡市、延岡警察署、延岡市消防本部、自衛隊第43普通科連隊、九州電力株式会社、宮崎ガス株式会社、九州旅客鉄道株式会社、宮崎交通株式会社、旭化成株式会社、延岡市区長連絡協議会、延岡市防災推進員、延岡市自主防災組織連絡協議会、NPO法人宮崎県防災士ネットワーク、延岡地区建設業協会、西臼杵支庁、五ヶ瀬町、日之影町、高千穂町、延岡河川国道事務所
関係機関約45名参加



3. 議事内容

1. 開会挨拶
2. 座長のあいさつ
3. 出席者のご紹介
4. 五ヶ瀬川タイムライン（事前防災行動計画）について
 - ・水防災意識社会再構築ビジョンにおける五ヶ瀬川水系タイムラインの位置づけ
 - ・H27鬼怒川破堤時のUAVによる映像
 - ・平成17年台風14号洪水時の映像
 - ・想定最大規模の外力について（プロジェクトマップング）
 - ・平成29年7月九州北部豪雨の土砂災害の映像
5. 昨年度の検討会の概要
 - ・五ヶ瀬川タイムライン検討会の経緯について
 - ・昨年度の成果と課題について
6. 議事
 - ・今年度の五ヶ瀬川タイムラインの進め方について
 - ・五ヶ瀬川タイムライン机上訓練について
 - ・情報共有に関する課題と情報共有システム（案）について
7. 質疑応答
8. 閉会

4. 主な意見・コメント等

①あいさつ 副所長

・内水被害を加味した現実に近いタイムラインについて検討を重ねることを考えていきたい。当検討会を通じて各機関が顔の見える関係を構築することにより連携強化が図れることや、人事異動が多い機関が多数ある中で確実にタイムラインが遂行されることにより、市民の安全が確保され、行動が引き継がれていくメリットがある。

②あいさつ 村上先生（座長）

河川災害の場合は守れば守るほど、堤防が切れたときの被害が大きくなる。台風14号の後に治水安全度が県内全体であがったが、仮にそれがやぶれると、台風14号を大きく超えることになるかもしれない。ぜひ、タイムラインを実のあるものにして欲しい。

③総括 村上先生（座長）

・タイムライン等の課題について次回の協議会で報告してほしい。
・住民の安全安心に向け顔の見える関係を構築していきたい。

